

早寝・早起き・朝ご飯＋運動(自力登校)で生活のリズムを整えましょう！

生活指導だより

第 6 号

そろえる

溝 辺 中 学 校

令和4年4月11日発行

始業式を振り返る ～「継続は力なり」実りある令和5年度に向けて～



いよいよ令和5年度がスタートしました。先ほど、2年生と3年生、そして生徒会の代表が力強い決意を語ってくれましたが、新しい年度が始まり、始業式を迎えるにあたって、一人一人が「心機一転頑張るぞ」という前向きな気持ちで、この節目の日に臨んでいることと思います。

新年度の始まりにあたって、みなさんに2つのことを話しておきたいと思います。1つ目は、「明確な目標を定めること」です。3年生は受験生になりました。4月には全国学力・学習状況調査、秋には進路決定、春には次のステージへ進むこととなります。そして、2年生は秋からは生徒会のバトンを引き継ぎ、溝辺中学校を導いていくリーダーとして活動していくこととなります。そのことを踏まえて、1日1日を充実したものに、そして将来へつなげるステップとなるようにしていくために、たどり着きたい「明確な目標」を設定することが大切です。

そして、その定めた目標に向かって、たゆまぬ努力を継続することです。目標を立てただけで終わらないように、具体的に何をしなければならぬか？を考え、できるだけ具体的な計画に沿って、毎日の努力を積み重ねていってください。

2つ目は「あいさつ」です。このことは昨年度から学校全体で「立ち止まり、相手の目を見て、大きな声で、語先後礼」というキャッチフレーズの下で取り組んでいます。

私は、あいさつはすべての基本で、様々な人とつながっていく上で大切なスキルだと思っています。2学期に4段階評価で3.7というみなさんの自己評価でしたが、3学期も同様の結果でした。多くのみなさんが「4」という評価を付けている中、自分を厳しく見つめ「3」または「2」という評価を出している人もいました。このあいさつを身に付けることは大きな武器です。今学期はさらなる高みへ向けて全校で頑張っていきましょう。

最後にお願ひです。今日の午後には22名の新入生を迎えます。是非、彼らが早く学校に慣れるよう、先輩として思いやりの心をもって接してください。何気ない細かな心遣い、気遣いは、きっと新入生にとって大きな励みになると思います。そして、これから始まる溝辺中学校での生活についてアドバイスをしてあげてください。よろしくお願ひします。

それでは、みなさんにとって、飛躍の一年、成長の一年になることを願って、1学期始業式の私の挨拶とします。

(始業式 校長先生のお話)

青年よ強くなれ 牛のごとく、像のごとく、強くなれ
真に強いとは、一道を生きぬくことである
性格の弱さ悲しむなかれ 性格の強さ必ずしも誇るに足らず
「念願は人格を決定す 継続は力なり」 真の強さは正しい念願を貫くにある
怒って腕力をふるうがごときは弱者の至れるものである
悪友の誘惑によって脱落するがごときは弱者の標本である
青年よ強くなれ 大きくなれ



住岡夜晃「讚嘆の詩」の一説

「昨年度の反省と今年度の目標」

2年生代表



短かった春休みが終わり、今日から新学年での生活が始まります。

僕は、一年生での生活を振り返ると、いろいろと反省点があります。まずは欠席や遅刻が多かったことです。それもあって、授業が受けられていない日がありました。また、宿題の提出が遅れてしまうことがありました。

今年はそんなことが無いように、体調を整え、しないといけないことはその日のうちに済ませるようにしたいです。

また、今日から僕たちは先輩と呼ばれる立場になります。去年、僕たちが入学してきたとき、先輩方はとても頼もしくて、優しく、頼りがいがある存在でした。今日、入学してくる一年生に、僕たちもそう思ってもらえるように、一つ一つの行動に責任をもち、毎日の学校生活を送っていきたいです。

「新学期のスタートに当たって」

生徒会代表



いよいよ新学期が始まります。皆さんは、規則正しい生活や今まで習ったことの復習など充実した春休みが送れたでしょうか。

今日から2年生は、初めての後輩ができ3年生を支える立ち場になります。三年生は最上級生となり学校全体をまとめる存在となりました。

それぞれの目標に向かってみんなで協力して、頑張っていきましょう。そして、一年生の手本になれるよう、あいさつや時間、提出物など当たり前のことが当たり前できるようにしていましょう。